

東河保育所園児ぶどう狩り

8月26日(土)、東河観光農園で東河保育所の園児30人がぶどう狩り体験しました。

東河観光農園では、子どもたちにおいしいぶどうを味わってもらおうと、毎年、保育所の園児を招待しています。

農園では、大きな粒が人気のピオーネが根域制限栽培により栽培されており、子どもたちは試食に用意されたぶどうを口いっぱい味わった後、広いハウスの中いっばいに実ったぶどうを見て大喜び。ハウスの中を駆け回ったり、大きな房に手を伸ばしたりしていました。

採れたぶどうは保育所まで届けてもらい、みんなでおいしくいただきました。



兵庫県茶業振興大会

県下各地から茶業関係者約60人が出席し、第15回兵庫県茶業振興大会が8月23日(水)、あさごささゆりホールで開催されました。

大会では主催者あいさつ等の後、第48回兵庫県茶品評会の褒賞授与式が行われ、朝来市から、吉川彰治氏(八代)が全国茶生産団体連合会長賞を、池本晃市氏(立脇)が兵庫県農業協同組合中央会長賞を、清水嘉一氏(八代)が地域奨励賞をそれぞれ受賞されました。

また、式の後には、池本氏が「未知の茶生産に飛び込んで」と題し、新規就農

生野駅上映会

夏の恒例行事となっている生野駅上映会が、偕和倶楽部活・楽・未の主催により、8月26日(土)、生野駅待合室で開催されました。

旧地域づくり生野塾の活動の一環として生野駅を住民の交流の場にしたという願いから始まったこの上映会は、今年で7回目。今年からは偕和倶楽部として、生野地域のみならず、より幅広い視点で取り組んでこられました。

特に今回は、シルバー生野の協力により、昭和32年に撮影された生野鉱山全盛期の様子が上映され、大変好評でした。かつての職場が次々と映し出さ

者として茶生産に取り組んでこられた自身の体験をもとに事例発表をされたほか、日本茶インストラクター協会副理事長桑原秀樹氏の講演があり、出席者は熱心に聴講していました。



た。

れると、会場からは鉱山で繁栄した時代を懐かしむ声が聞かれました。

